

埼玉県教育・保育の質を高めるための ふりかえりリスト



この「ふりかえりリスト」を定期的に活用し、日々の保育のあり方を振り返り、職員の働きやすい環境を整えながら、保育の質の向上につなげましょう。

埼玉県保育協議会

埼玉県のより良い教育・保育環境を創る検討委員会

1. 子どもの最善の利益を尊重する保育	P1
2. 近年の子育ち・子育ての実態	P3
3. 子どもの主体性を尊重した教育・保育	P4
4. 地域と共に（地域ニーズの発掘）	P6
5. より良い保育環境を整える	P7

1. 子どもの最善の利益を尊重する保育

1-（1） 子どもの利益を尊重する保育に関して園内で話し合いを行っている

- ☐ ㊦ 日常の保育の中でも、職員同士、常に意識をして話し合いを行っている
- ☐ ㊩ 職員会議や園内研修などの機会に行っている
- ☐ ㊵ 行えていない

1-（2） 園で取り組むことができる「子ども最善の利益を尊重する保育」について話し合いを行っている

- ☐ ㊦ 日常の保育の中で自然と話し合っている
- ☐ ㊩ 定期的な会議やミーティングで話し合っている
- ☐ ㊵ 話し合う機会がない

1-（3） 子どもの声に耳を傾けて、子どもの気持ちに寄り添った保育ができている

- ☐ ㊦ できていると実感している
- ☐ ㊩ できるように意識して取り組んでいる
- ☐ ㊵ できていないと感じることもある

1-（4） 優しい口調で子どもに接し、強い口調で子どもを叱ったり、大きな声を出していない

- ☐ ㊦ 意識的に穏やかな口調を心がけ、実践できている
- ☐ ㊩ 基本的には優しく話せているが、忙しい時や対応に困った時に強い口調になってしまうことがある
- ☐ ㊵ 意識はしているが、感情的になってしまうことがあり、改善の余地がある

1-（5） 何事にも、肯定的な声掛けを意識して保育を行っている

- ☐ ア普段から積極的に肯定的な声掛けを意識し、実践できている
- ☐ イ基本的には意識しているが、忙しい時や対応に困った時に否定的な言葉になってしまうことがある
- ☐ ウ肯定的な声掛けの重要性は理解しているが、具体的にどう伝えたら良いか迷うことがある

1-（6） 子ども一人ひとりに適したかわりを行っている

- ☐ ア年齢や個々の状況に応じた関わりを常に意識できている
- ☐ イ基本的には意識しているが、場面によって課題を感じることもある
- ☐ ウどのように関わればよいか迷うことがある

1-（7） 給食やおやつは栄養バランスに配慮したものを提供し、個々の状況に合わせ適切に援助している

- ☐ ア一人ひとりの状況に応じて適切に提供し援助できている
- ☐ イ基本的には配慮しているが、提供方法や援助の仕方について迷うことがある
- ☐ ウ対応できていない

1-（8） 一人ひとりの個性に合わせた保育をしている

- ☐ ア一人ひとりの個性を尊重し、柔軟に対応できている
- ☐ イできる限り意識しているが、課題を感じる
- ☐ ウできていない

1-（9） 保育者同士で「支え合う」ことができている

- ☐ アお互いに支え合っていると感じる
- ☐ イできる限り支え合おうと意識している
- ☐ ウ支え合う組織体制が整っていない

1-（10） 保育者間で意見を出し合う機会を作り、悩んだり疑問に思ったときに相談できる体制が整っている

- ☐ ア率直に意見を出し合える環境がある
- ☐ イ話し合いの場はあるが、意見を出しにくいことがある
- ☐ ウ相談する環境が整っていない

2. 近年の子育ち・子育ての実態

2-(1) 保護者の送迎時にちょっとした会話で「〇〇ちゃん、今日こんなことをしましたよ」など、前向きな報告を意識している

- ☐ ア 毎回意識して行えている
- ☐ イ 時間がある時にはできている
- ☐ ウ 忙しくてなかなかできていない

2-(2) 園と保護者が「一緒に子どもを育てる」関係を作るために、コミュニケーションを大切にしている

- ☐ ア 日々のコミュニケーションを大切にしている
- ☐ イ 意識して関わるようにしているが、よりよい方法を模索している
- ☐ ウ コミュニケーションの必要性の共通理解がされていない

2-(3) 保護者が気楽に相談でき、保護者の「困っているサイン」に保育者は気づき、必要に応じてサポートや支援につなげる体制が整っている

- ☐ ア できていると感じる
- ☐ イ ある程度できているが、さらに工夫が必要
- ☐ ウ できていない

2-(4) 子どもに対して、強制的に食事をさせたり、排せつを急（せ）かしたりせず、子どもが安心して無理なく過ごせるような配慮を心掛けている

- ☐ ア いつも意識して配慮している
- ☐ イ できるだけ配慮しているが、課題がある
- ☐ ウ できていない

2-(5) 食物アレルギーを持つ子どもに対して、コンタミネーション*（混入）を起こさないための仕組みができている

- ☐ ア アレルギー対応のためのマニュアルが整備され、職員全員が理解し実践できている
- ☐ イ できる限り配慮しているが、改善が必要な点がある
- ☐ ウ ルールやマニュアルが不十分で、リスクを感じることもある

コンタミネーション*

コンタミネーションとは、異物やアレルゲンなどが意図せず混入してしまうことを意味します。保育の現場では、食物アレルギーを持つ子どもへの影響は特に重要です。例えば、アレルギーのある子の食器に、アレルゲンを含む食品が少しでも付着すると、重篤なアレルギー反応を引き起こす等の可能性があります。調理器具や食器を別々に使うなど、ルールやマニュアルを整え、手洗いや清掃を徹底することで防ぐことができます。「少しなら大丈夫」は禁物と覚えておきましょう。

参考：保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019 年改訂版）

3. 子どもの主体性を尊重した教育・保育

【保育者個人】

3-（１）子どもが自ら興味・関心をもつ活動に主体的に取り組む環境を設けている

- ☐ ㊦子どもが自由に選んだり、主体的に取り組む環境を整えている
- ☐ ㊧できる限り整えているが、まだ改善の余地がある
- ☐ ㊨充分に取り組めていないと感じる

3-（２）子どもの気持ちを受け止め、対話を大切にできる環境を整えている

- ☐ ㊦日々の保育の中で、子どもの声をしっかり受け止めている
- ☐ ㊧意識して関わるようにしているが、もっと工夫が必要だと感じる
- ☐ ㊨忙しさや環境の影響で、子どもの話を聞けていないことがある

3-（３）子どもの個性を尊重し主体性を引き出している

- ☐ ㊦一人ひとりに合わせた対応ができている
- ☐ ㊧できるよう努力しているが、課題がある
- ☐ ㊨できていない

3-（４）子どもに寄り添い自ら表現できる環境を整えている

- ☐ ㊦環境が整い、子どもが表現しやすい状況にある
- ☐ ㊧できるだけ配慮しているが、課題がある
- ☐ ㊨環境が整っていない

3-（５）保護者と日々話し合い子どもの成長を共有している

- ☐ ㊦毎日のやりとりの中で自然に共有できている
- ☐ ㊧時間があるときに話しているが、十分ではないと感じる
- ☐ ㊨話し合う機会がない

3-（６）保護者と良好な関係を築く体制がとれている

- ☐ ㊦良好な関係が築けている
- ☐ ㊧できる限り関係を良くしようと努めている
- ☐ ㊨信頼関係を築けていない

3-（７）研修を積極的に取り入れ自己研鑽に努めている

- ☐ ㊦定期的に研修に参加し、学びを深めている
- ☐ ㊧できるだけ研修に参加しようと心がけている
- ☐ ㊨研修の機会が少なく、参加できていない

3-（8） ノンコンタクトタイム（業務時間内に子どもたちと離れる時間）を行える体制が整っている

- ☐ ア 計画的に確保できている
- ☐ イ できる限り確保するよう努めているが、十分ではない
- ☐ ウ 確保できていない

3-（9） 自分自身の気持ちに向き合い保育の振り返りを行っている

- ☐ ア 日々振り返りを行い、改善に活かしている
- ☐ イ できるだけ振り返るよう意識しているが、不十分に感じる
- ☐ ウ 振り返りができていない

【保育者相互】

3-（10） 保育者相互で協働し保育環境の改善を行っている

- ☐ ア 協力しながら環境を改善できている
- ☐ イ できる限り協力しているが、十分ではない
- ☐ ウ 協力できていない

3-（11） 定期的なミーティングを行い、意見を出し合える環境を整えている

- ☐ ア 率直に意見を出し合える環境がある
- ☐ イ 話し合いの場はあるが、意見を出しにくいことがある
- ☐ ウ 意見を出せる場がない

3-（12） 主体的に役割分担をして、取り組む環境が整っている

- ☐ ア それぞれが得意分野を活かし、役割分担できている
- ☐ イ できる限り役割分担を意識しているが、課題がある
- ☐ ウ 役割分担ができていない

3-（13） 多様な視点で子ども一人ひとりをとらえ、意見を出し合える環境がある

- ☐ ア 子ども一人ひとりを多様な視点でとらえ、意見を出し合えている
- ☐ イ できる限り意見を出し合っているが、改善の余地がある
- ☐ ウ 意見交換ができていない

【園内組織】

3-（14） 実践例や研修からの学びを共有する環境が整っている

- ☐ ア 定期的に共有し、学び合っている
- ☐ イ できるだけ共有するよう努めているが、十分ではない
- ☐ ウ 共有の機会がない

3-（15） 職員の配置や異動を考慮し、働きやすい風通しの良い環境を整えている

- ☐ ア適切な職員の配置や異動が行われ、率直な意見交換ができ働きやすいと感じる
- ☐ イできるだけ工夫しているが、改善点があると感じる
- ☐ ウ工夫できていない

3-（16） ICT 機器等が扱えるように努めている

- ☐ ア必要な機器を活用し、業務の効率化を図っている
- ☐ イできる限り扱えるよう努めているが、まだ不慣れな部分がある
- ☐ ウ活用できていない

4. 地域と共に（地域ニーズの発掘）

【地域（資源・専門機関）との連携】

4-（1） 園が関係機関と連携をとる体制が整っている

- ☐ ア地域の機関と定期的に連携を取っている
- ☐ イ必要に応じて連携を行っている
- ☐ ウ連携を取れていない

4-（2） 園の防犯、安全対策が出来ている

- ☐ ア定期的に確認し、必要な対策を実施している
- ☐ イある程度対策はできているが、見直しが必要
- ☐ ウまだ十分な対策ができていない

【地域社会への発信（公開保育等）】

4-（3） 地域にとって開かれた園となっている

- ☐ ア地域にとって開かれた活動を積極的に行っている
- ☐ イ限られた機会が開かれた活動を実施している
- ☐ ウ開放的な取り組みができていない

4-（4） 保育参加や保育者体験等、保護者等の保育への参加の機会を提供している

- ☐ ア積極的に提供している
- ☐ イ機会を作るよう努力しているが、十分ではない
- ☐ ウ実施できていない

4-（5） 園庭開放や公開保育等子育て支援を積極的に行っている

- ☐ ア定期的に実施し、地域の子育て支援を行っている
- ☐ イ必要に応じて実施しているが、機会は少ない
- ☐ ウ行えていない

4-（6） 保育内容や保育の質向上に配慮するよう努めている

- ☐ ア継続的に取り組んでいる
- ☐ イできる限り意識しているが、まだ課題がある
- ☐ ウ取り組めていない

4-（7） 保護者や地域への保育等の説明が常に出来る体制が整っている

- ☐ アいつでも説明できるように意識している
- ☐ イ必要に応じて説明しているが、課題がある
- ☐ ウうまく説明できていないと感じる

4-（8） 子どもの発達や家庭内での困りごと等の相談に、乗ることの出来る体制が整っている

- ☐ ア保護者が気軽に相談できる体制が整っている
- ☐ イ相談に対応できるように努めているが、十分ではない
- ☐ ウ相談できる仕組みがほとんどない

4-（9） 個人情報の保護が徹底されている

- ☐ ア園内でしっかり管理されている
- ☐ イ基本的なルールはあるが、改善が必要な部分がある
- ☐ ウルールが曖昧で、不安を感じる

4-（10） ホームページや SNS 等、積極的に活用し保育の理解に努めている

- ☐ ア定期的に情報発信している
- ☐ イ必要に応じて発信しているが、もっと活用したい
- ☐ ウほとんど活用できていない

5. より良い保育環境を整える

【インクルーシブ保育への取り組み】

5-（1） インクルーシブ保育を行う環境が整っている

- ☐ ア必要な環境を整えている
- ☐ イある程度はできているが、まだ課題がある
- ☐ ウほとんど対応できていない

5-（2） 一人ひとりを尊重した教育・保育を行うための研修等を通し、理解を深めている

- ☐ ア積極的に研修を受け、理解を深めている
- ☐ イできる限り学んでいるが、まだ不十分と感じる
- ☐ ウ研修の機会がなく、学ぶ時間が取れていない

5-（3）医療的ケアを必要とする子どもの入所に伴い、看護師の配置や発達支援計画等が作成出来る体制が整っている

- ☐ ア必要な体制が整っている
- ☐ イ基本的な対応はできているが、専門的な支援や職員のスキルアップが必要だと感じる
- ☐ ウ体制が整っていない

5-（4）保護者と保育者で協働し子どもの育ちを支援できる体制が整っている

- ☐ ア保護者との連携が円滑で、お互いに協力しながら子どもの育ちを支えられている
- ☐ イ基本的に連携できているが、さらなる工夫が必要だと感じる
- ☐ ウ保護者との関係構築が難しく、協力できていないと感じる

【自己評価の活用】

5-（5） 保育を振り返るためにチェックシート等を使って確認している

- ☐ ア定期的に実施し、振り返りを行っている
- ☐ イ必要に応じて行っているが、十分ではない
- ☐ ウ実施できていない

5-（6） セルフチェックを行い、課題の抽出や改善への対策を行っている

- ☐ アできている
- ☐ イある程度できているが、さらに工夫が必要
- ☐ ウできていない

5-（7） 園の自己評価を行い、改善に取り組む体制が整っている

- ☐ ア毎年実施し、改善に向けた取り組みを行っている
- ☐ イ必要に応じて行っているが、取り組みが十分ではない
- ☐ ウ実施できていない

【研修（園内・園外）機会の確保】

5-（8） 年間での研修計画が出来ている

- ☐ ア計画的に研修を実施している
- ☐ イ必要に応じて研修を実施している
- ☐ ウ研修の機会が少なく、計画的に実施できていない

5-（9） 他の保育施設間での公開保育等、交流し学び合える体制が整っている

- ☐ ア積極的に交流を行っている
- ☐ イ機会を増やしたいと思っているが、まだ少ない
- ☐ ウほとんど交流の機会がない

「ふりかえりリスト チェックシート」

☆チェックシートを使って、今の自分の現状を、数値化・図式化してみましょう。

1. 子どもの最善の利益を尊重する保育

	㊦3点	㊧2点	㊨1点	
1- (1)				
1- (2)				
1- (3)				
1- (4)				
1- (5)				
1- (6)				
1- (7)				
1- (8)				
1- (9)				
1- (10)				1. 合計
集計	個×3＝	個×2＝	個×1＝	

2. 近年の子育ち・子育ての実態

	㊦3点	㊧2点	㊨1点	
2- (1)				
2- (2)				
2- (3)				
2- (4)				
2- (5)				2. 合計
集計	個×3＝	個×2＝	個×1＝	

3. 子どもの主体性を尊重した教育・保育

	㊦3点	㊧2点	㊨1点	
3- (1)				
3- (2)				
3- (3)				
3- (4)				
3- (5)				
3- (6)				
3- (7)				
3- (8)				
3- (9)				
3- (10)				
3- (11)				
3- (12)				
3- (13)				
3- (14)				
3- (15)				
3- (16)				3. 合計
集計	個×3＝	個×2＝	個×1＝	

4. 地域と共に（地域ニーズの発掘）

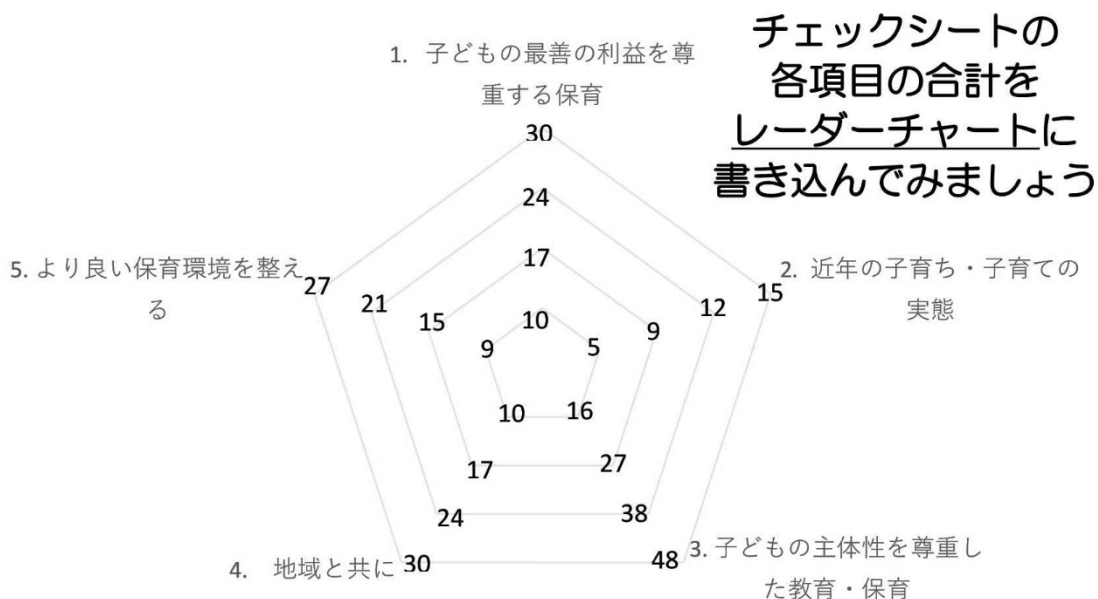
	㊦3点	㊩2点	㊵1点	
4- (1)				
4- (2)				
4- (3)				
4- (4)				
4- (5)				
4- (6)				
4- (7)				
4- (8)				
4- (9)				
4- (10)				4. 合計
集計	個×3＝	個×2＝	個×1＝	

5. より良い保育環境を整える

	㊦3点	㊩2点	㊵1点	
5- (1)				
5- (2)				
5- (3)				
5- (4)				
5- (5)				
5- (6)				
5- (7)				
5- (8)				
5- (9)				5. 合計
集計	個×3＝	個×2＝	個×1＝	

ふりかえりリスト チェックシート

レーダーチャート



【自由記述】

(みんなで保育をより良くしていくために、ちょっとした気づきや感じたことを自由に書いてください。どんな小さなことでも、振り返ってみることは、あなたの成長につながります。自分の言葉で残しておくことで、次に活かせることもあるかもしれません。もし今の自分にアドバイスをするなら、どんなことを伝えますか。率直な気持ちを自由に気楽に書いてみてくださいね)

名前

実施日

年

月

日